

JELA NEWS

ジェラニュース 第64号

2024年8月15日 発行

発行責任者 渡辺 薫

公益財団法人 JELA 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-20-26 TEL.03-3447-1521 FAX.03-3447-1523 jela@jela.or.jp www.jela.or.jp

難民支援事業 / 世界の子ども支援事業 / 奉仕者育成事業 / 緊急災害支援事業

私たちは、キリストの愛をもって、日本と世界の助けを必要とする人びとに仕えます

お前たちは、わたしが飢えていたときに食べさせ、のどが渴いていたときに飲ませ、旅をしていたときに宿を貸し、裸のときに着せ、病気のときに見舞い、牢にいたときに訪ねてくれたからだ。はっきり言うておく。わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである。(マタイによる福音書25章35～36、40節)



パートナーからお祝いのメッセージ続々！

宣教師社団から公益財団までの115年

JELAのあゆみ

JELAは、2024年4月1日に公益財団法人となりました。正式名称は「公益財団法人JELA（英語：JELA Foundation）」になります。あらためまして、よろしくお願いいたします。今回は、公益財団法人としての再スタートを記念して、読者の皆さんと一緒にJELAの115年のあゆみを振り返ってみたいと思います。これを知っていただければ皆さんもJELA博士です！

◆JELAの誕生日

JELAの誕生日は6月21日です。1909年6月21日に法人設立されました。設立当初の名称は「在日本アメリカ合衆国南部福音ルーテル教会ユニテッド・シノッド宣教師社団」。その名の通り、元々は米国から日本にきたルーテル教会宣教師による社団法人だったのです。創立記念日をお休みと定めている法人もありますが、JELAは通常営業です。ただしクリスマス（12月25日）は特別休暇となっています。法人設立日でなく、イエス様の誕生日にお休みするのがJELAスタイルです。

◆名称の変遷

今日では多くの方からJELA（ジェラ）と呼ばれていますが、設立当初から何度か名称が変わっています。これまでどのような名前だったのか、それがどうしてJELAとなったのかをご紹介します。

1. 設立(明治42年)～大正時代

在日本アメリカ合衆国南部福音ルーテル教会ユニテッド・シノッド宣教師社団(1909～1919年)

アメリカ南部のルーテル教会「南部一致シノッド」から日本へ派遣される宣教師の受け皿として、社団法人が設立されました。当時は外国人の国内財産の保持が認められていなかったため、宣教師の財産を守るために社団法人を作る必要がありました。



宣教師社団の設立許可書(1909年)

2. 大正時代～第二次世界大戦前

在日本北米合衆国一致ルーテル教会宣教師社団(1919～1941年)

1918年、ルターの宗教改革400年を記念して、アメリカのルター派の3教団、「南部一致シノッド」(JELAの源流)、「General Synod」「General Council」が統合され、「United Lutheran Church in America」(ULCA、現在の米国福音ルーテル教会[ELCA]の前身の1つ)になりました。それを反映して、宣教師社団の名称に「北米合衆国一致ルーテル教会」が入ることとなりました。この名前を知る人は、JELAのことを大変よくご存じの方だと思います。

3. 第二次世界大戦前～2013年1月

日本福音ルーテル社団(1941～2013年)

日米間の緊張が高まる中で、宣教師社団も日本政府から敵対国名を法人名より削除することが求められました。これにより、法人名を「日本福音ルーテル社団」と改めました。終戦後もこの名称を維持し、72年もの間使用されることとなりました。この間に、英語名「Japan Evangelical Lutheran Association」の頭文字を取った愛称「JELA」で呼ばれるようになりました。



戦後に来日した宣教師たち(1949年)

の時代に、難民支援事業(1984年～)、世界の子ども支援事業(2001年～)、奨学金事業(2001年～)など、現在のJELAの主要な事業の数々を開始しています。

4. 2013年1月～2021年8月

一般社団法人日本福音ルーテル社団(2013～2021年)

国の公益法人改革により、旧民法の社団法人・財団法人は、2013年11月末までに新たな公益社団・財団法人又は一般社団・財団法人に移行する必要がありました。当時JELAの事業は既に公益的動きとして定評がありましたが、新法人のための申請移行期間が短かったこともあり、一般社団法人となることを選択しました。この時、近い将来に公益法人を目指していくという方針も決定しました。

5. 2021年9月～2024年3月

一般財団法人JELA(2021～2024年)

社団法人と財団法人のどちらの法人として公益法人を目指すべきかが検討されました。その結果、JELAは米国教会から多くの財産を受け継いでいるので財団法人がより実態に即しているという結論に達しました。こうして、100年以上続いた社団時代の幕を閉じ、一般財団法人へ移行したJELAは、公益活動をより広く展開する覚悟をもって、これまで愛称で親しまれてきたJELAを正式な団体名に採用し、内閣府へ公益認定申請を行いました。

6. 2024年4月以降

公益財団法人JELA(2024年4月～現在)

前述の通り、JELAはこれまでの公益的事業の実績が評価され、2024年4月1日に内閣府による公益認定を受けることができました。一般法人が法務局への登記のみで設立できるのに対し、公益法人は内閣府に公益認定申請を行い、厳しい審査を通らなければなりません。そのため公益法人は社会的信用力が高く、税制面でも優遇を受けやすくなっています。また支援者(JELAへ寄付)をしてくださる方にも税制上の優遇措置があります。多くの支援

者の方に見守られ、JELAはついに社会的に認められた公益法人となったのです。

◆熊本生まれ東京育ち

JELAは熊本生まれ東京育ちの法人です。1909年「在日本アメリカ合衆国南部福音ルーテル教会ユニテッド・シノッド宣教師社団」の事務所は熊本市内にあった宣教師館内に置かれました。神学校の東京移転に伴い、JELAも東京・中野区鷺宮の日本ルーテル神学専門学校(現・日本ルーテル神学校)に移動しました。

1969年、JELAは神学校の東京・三鷹市への移転を機に、鷺宮を離れ、同新宿区百人町の宣教師館に移転しました。

1974年、日本福音ルーテル教会は宣教資金対策を収益事業に求めます。JELAもこれに協力して、百人町の宣教師館敷地を売却し、その資金によって市ヶ谷会館(音楽ホールと宿泊施設)の建設に参画し、JELAの事務所も市ヶ谷会館内に移転しました。

1990年代末になると、ルーテル教会から教会事務所の手狭を理由にJELAの事務所を市ヶ谷会館の外にという要望が出たため、新天地を求めることになりました。

2004年、JELAの事務所は東京都渋谷区恵比寿の地に収益物件を含む自社ビルを建設して移転しました。「ジェラ・ミッションセンター」と名付けられた建物には、1階にJELAのミッションステートメント(マタイによる福音書25章35-36、40節)を表現したステンドグラスを設置したホールがあり、2階の事務所と共にJELAの事業の拠点となって親しまれています。ぜひ皆さんも遊びに来てください。

◆公益事業の歴史

1984年、JELAの難民支援事業がスタートしました。外務省から市ヶ谷教会にイラン難民家族への宿泊場所・支援金支給等の支援の依頼がありました。しかし宗教法人(教会)が難民支援の受け皿になることが難しかったことから、JELAにその役目がまわってきたのです。外務省と教会の要請に応えるかたちでJELAの難民支援事業がはじまりました。

当初、外務省から支援を受けて、JELAは主に難民認定申請者の生活面のサポートを行ってきましたが、UNHCR・政府機関・難民支援に関わるNGOとの話し合いの結果、難民認定申請者が申請結果を待つ間、安心して生活できる住居が必要であるという認識に至り、1989年に板橋区に難民シェルター用のアパートを購入しました。アパートを改装して1991年に民間初となる難民シェルター「JELAハウス」の運営を開始しました。

1999年7月には、ルーテル教会の信徒によって発足した「ブラジルのストリートチルドレンを支える会」の働きを引き継ぎ、「ブラジルディアコニア活動支援プロジェクト」や「ブラジル・プロジェクト委員会」などの名称で活動をはじめ、2019年3月までの約20年間、日系ブラジル教会などの活動を支援しました。

2001年には、奨学金(給付型)とワークキャンプの事業を開始します。ワークキャンプは2001年の米国キャンプを皮切りに、2004年にはインドキャンプ、2007年にはカンボジアキャンプを開始しました。「世界の子ども支援事業」が始まったのもこの時期です。2003年にインド支援を開始し、2009年からはルーテル世界連盟(Lutheran World Federation = LWF)に協力する形で、カンボジア、バングラデシュ、インド(コルカタ)へ事業を拡大しました。今日もJELAはインドの幼児養護施設への奨学金とカンボジアのプレスクール建築の事業を続けています。



米国ワークキャンプ



インドの幼児養護施設の少女たち

2006年には、米国福音ルーテル教会のキャロル・サック宣教師による歌とハーブによって祈りを届ける「リラ・プレカリア(祈りのたて琴)研修講座」を開講し、2018年の第6期まで奉仕者の育成を行いました。リラ・プレカリアの活動は、日本における「看取り」の新しい形としてメディアの注目を集めました。今日では研修講座の修了生が国内外で活躍しています。

2011年には、増え続ける国内難民申請者のニーズに応え、江戸川区に新たに「JELAハウス2」を開設しました。初代の板橋JELAハウスも老朽化のため建て替え計画が持ち上がり、2019年に女性専用のシェアハウス型のシェルターとしてリニューアルオープンしました。

2021年にはUNHCR(国連難民高等弁務官駐日事務所)と共同で難民専門学校教育プログラム(Refugee Vocational Education Programme - RVEP)を開始すると共に、奨学金事業から難民支援の奨学金を独立させることで、難民支援事業をさらに充実させました。

2021年、学校教育助成事業がスタートしました。JELAのミッションステートメントである「キリストの愛をもって他者に仕える」ところごしを同じくし、人材育成を行う教育機関を支援しています。

JELAの公益事業は、おかげ様で今年40周年を迎えました。これも一重に活動を支援し、お祈りしてくださる皆さんのおかげです。

◆JELAとは何か

米国から来日するルーテル教会の宣教師の受け皿として誕生したJELAは、1909年以來115年間に渡り、日本の福音宣教・公益事業に従事してきました。法人として宣教師支援の比重が減っていくなかで、キリストの愛を持って隣人に仕える公益事業の活動を拡大してきました。

これからのJELAは、公益財団法人として①難民支援、②世界の子ども支援、③奉仕者育成の3つの柱を中心に公益事業を展開してまいります。

JELAへの寄付は税制上の優遇措置を受けることができます。JELAサポーターとして、皆様にもJELAの公益事業をお支えいただけますと幸いです。

公益法人となったJELAへ 応援のメッセージを頂きました！

信頼できるパートナー



多田 直之
パナソニック ホールディングス株式会社
企業市民活動推進室 主幹

公益財団法人として新しいスタートを切られる事、お祝い申し上げます。

当社はこれまで、JELA様との連携により、カンボジアなどの電気のない地域で暮らす方々にソーラーランタンの寄贈活動を行ってまいりました。この活動により、あかりを届けることで、夜間も子どもたちが勉強できたり、内職で収入を得られたりと、夜間における生活の質を向上させることができました。また、JELA様は単にソーラーランタンを寄贈されるだけでなく、データ収集を丁寧にを行い、その成果を見える形で報告していただける点でも、大変信頼できるパートナーであると感じております。

さらに、広報活動にも力を入れられ、その活動内容を広く発信することで認知度の向上にも大いに貢献してくださっています。それにより、このような社会貢献活動も広く知られるようになりました。今後も引き続き、JELA様と共に無電化地域にあかりを届け、多くの方々の笑顔につながる活動を進めてまいりたいと考えております。特に、現地でのフォローアップや具体的な効果のフィードバックを通じて、支援活動の質をさらに高めていけることを期待しております。

今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

新しい時代のミッションと共に



小海 光
公益財団法人ウェスレー財団 代表理事

東京の南青山にあるウェスレー財団は、キリストの愛の教えとその実践を広く日本、アジア、世界で行うために2010年より活動している公益財団法人です。そのレガシーは150年以上前、日本に派遣され、各地で教育と社会福祉向上のために働いていた宣教師たち（特に合同メソジスト教会）に遡ります。ウェスレー財団は、国内・国際研修をはじめ、活動・学費助成金、インターンシッププログラム、国際協働プロジェクトなどを通して、「社会課題解決のために貢献する、次世代のグローバルリーダーの育成」をミッションとしています。

この度、同じくキリスト教を基盤とし、そのレガシー、ミッションに共通点を持つJELAが公益財団法人となったこと大変嬉しく思います。共にこの社会に仕えていく働きは多くあると思います。JELAとUNHCRとウェスレー財団が行う「難民専門学校教育支援プログラム」もその1つです。新しい時代のミッションに向けて、さらに協力し合っていくことを祈っています。

全世界の人々のためのミッション



石田 順孝
アメリカ福音ルーテル教会
アジア太平洋州 主任

宣教、ミッションに従事するとき、それは神のミッション (missio Dei) に加わるものです。それにあたって「和解」という言葉に触れます。「神は、キリストを通してわたしたちを御自分と和解させ、また、和解のために奉仕する任務をわたしたちにお授けになりました。つまり、神はキリストによって世を御自分と和解させ、人々の罪の責任を問うことなく、和解の言葉をわたしたちにゆだねられたのです」（コリントの信徒への手紙二 5:18,19）。神様のミッションに忠実に加わるのならば、これは単に教会内や信者を対象に限られず、全世界の人々に向けたものとなります。

今回JELAのミッションが社会の公益に携わることを考えますと、これも和解と同じなのではないでしょうか。人道的な働きをしながら、人の一番の好きをひきだし、人間関係を作り上げ、世界（神の）平和に貢献するものです。

今後も公益財団法人としてのJELAが、日本や世界の人々の公益・和解に引き続き貢献できることを期待しながらお祈りします。

難民支援の「輪」に期待



伊藤 礼樹
国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) 駐日代表

日本の難民受入れの取組みが広がりをみせる中、UNHCR駐日事務所は、JELA様と共に難民専門学校教育プログラム (RVEP) に携わることができ、大変光栄です。このプログラムは、日本にいる難民のスキルの習得を通じて自立を支援する重要な取組みです。2020年の開始以降、ホテル料理人、システムエンジニア、医薬品研究者など、卒業生が様々な分野で活躍しており、他の難民のロールモデルとなっています。RVEPをはじめとするご支援を受け、日本社会で活躍する難民が増えていることをとても嬉しく思います。

難民の保護・支援には、社会全体による取組みが不可欠です。JELA様をはじめとする市民社会の皆さまのご支援は、難民が自らの力で新たな生活を築き、尊厳を持ってコミュニティーで暮らすための大きな助けとなっています。難民を包摂する社会の実現を目指し、JELA様や皆さまと引き続き連携し、日本社会での持続可能な難民支援の「輪」が徐々に広がっていくことを期待しています。

JELAとの協働で女兒支援が可能に

キョーール・クマール・ナグ
ルーテル・ワールド・サービス・インディア・トラスト (LWSIT) 事務局長



LWSITは、女兒のための寄宿制の支援施設 (CCI) を2013年から運営しており、JELAにもこのプロジェクトのためにご協働いただいています。CCIを利用する少女たちはとても貧しい家庭の出身で、親が基本的な教育機会を確保することができません。そこでLWSITが彼女たちに質の高い教育やケアを提供しているのです。この活動が可能となっているのはJELAのおかげです。今後の連携にも期待しています。

更なるインパクトのための新たな一歩

ボーン・タイ
ルーテル・ホープ・カンボジア・オーガニゼーション (LHCO) 事務局長



JELAは過去20年にわたり、私たちと緊密に連携し、カンボジアで幅広い開発プロジェクトを実施してきました。JELAとLHCOの働きは、カンボジアの農村地域における教育や衛生環境の向上につながりました。JELAが新たな一歩を踏み出すことで、カンボジアにおいて更にインパクトのある活動が行なわれるという希望を感じています。LHCOは、JELAとのパートナーシップを一層発展させていきます。

地の塩、世の光として



永吉 秀人
日本福音ルーテル教会 総会議長

はじめに、「公益財団法人JELA」として新しくスタートされましたことをお慶び申し上げます。

「社団」の設立経緯については「日本福音ルーテル教会百年史」の第三章で、ルーテル教会で最初の公益的法人となる「宣教師社団」の設立として特記されています。

1909年のことであります。その後の経緯は、JELAのウェブサイトにおいて非常によくまとめられており、日本法の変遷に伴う、存在形態、事業形態の変化が手に取るようにわかります。それは時代の変化に即応し、日本における宣教のフロントに立つ姿でもありましょう。

キリストによる宣教の使命は「地の塩、世の光」（マタイ5章）として派遣されることですが、教会の枠組みだけでは人に寄り添うには限りがあります。それゆえ、JELAによる働きの展開は教会の悲願と言っても過言ではありません。公益財団法人として、より深く、さらに広いJELAの働きのご発展をお祈り申し上げます。

奉仕者育成

学校教育助成事業 助成校の取り組み進む！

JELAは2023年に、教育機関がミッションステートメント（「キリストの愛をもって、国内外の助けを必要とする人々に仕える」と親和性のある人材育成プログラムを助成する、学校教育助成事業を開始しました。

初年度には、大阪キリスト教短期大学（プノンペンの無償保育園の新設・持続可能な運営のための基盤整備）、九州ルーテル学院大学（障害学生を応援する学生の活動 [サポーターSHIP-S] ）、松蔭高等学校（環境問題の啓発活動 [Blue Earth Project] ）の3校が選ばれました。各校の取り組みについてご紹介いたします。

■大阪キリスト教短期大学

カンボジアの首都プノンペンに貧しい家庭の子どもを対象とした無償保育園の新設し、同短期大学の幼児保育のノウハウを提供することで日本とカンボジアの



プノンペンの保育園を訪問したJELAスタッフ

架け橋となる取り組みを実施。幼児保育について学ぶ学生の研修・視察先として同保育園を生かして人材育成を行なっています。

■九州ルーテル学院大学

聴覚障害学生を受け入れるための研修やセミナーに、職員や学生ボランティアが参加しました。職員と学生ボランティアが要約筆記者養成講座を受講してスキルアップしたほか、大教室に聴覚障害者が聴きやすい音響設備を導入しました。

■松蔭高等学校

「女子高生が社会を変える！」を合言葉に、環境問題に取り組むプロジェクト型のキャリア教育「Blue Earth Project（ブルー・アース・プロジェクト）」を企画・実施。日本では年間約30億着の衣服が作られ、その半が廃棄されていることに着目。同プロジェクトのメンバー30人が脚本を作り、劇や古着ファッションショーを通じて、「服の環境問題（ファッションロス）」の啓発に取り組みしました。

JELA×hi-b.a.

12月26～28日に千葉県で参加費無料のワークキャンプを開催！

JELAは、高校生のためのキリスト教の伝道団体 hi-b.a. 高校生聖書伝道協会 (hi-b.a.) と共に2024年12月26～28日の2泊3日の日程で千葉県のhi-b.a. キャンプ場を会場にワークキャンプを実施します。

hi-b.a. は、1950年代に建設された九十九里浜のキャンプ場の建て替え準備を進めており、それに関連するワーク(畳の搬出、備品の整理、不用品の処分)をJELAと共同でキャンプとして企画することとなりました。

ワークの他に聖書の学びやバーベキューなどのイベントも企画しています。参加費は無料ですので、皆さんのご応募お待ちしております！

hi-b.a. は社会に隣人に仕えることを知る次世代が育つ大切な場所です。ワークを通して、皆さんが参加してキャンプ場の建替準備のワークを行う意味を考える時をともに持ちましょう。

2025年度 学校教育助成金 募集要項 (抜粋)

【助成金額】100万円(年間上限)
【給付期間】1～3年間
(内容に応じて最長で3年間)

【給付時期】プロジェクト開始時
(複数年の場合は年度末に審査を行い、助成継続可否を判断)

【応募の資格】

- ・「キリストの愛をもって、国内外の助けを必要とする人々に仕える」目的の人材育成活動が行われていること。
- ・複数校が共同プロジェクトを行う場合は、幹事校と窓口担当者が明確であること。

【応募方法】当財団ウェブサイトから申請書をダウンロードし、ご記入・ご郵送ください。

【応募締切】2024年10月31日(必着)

【募集校数】2～3校

助成事業や
募集の詳細は
こちらから ▶



【ワークキャンプ概要】

主催 公益財団法人JELA/hi-b.a. 高校生聖書伝道協会
内容 キャンプ場建替準備のための備品整理ワークや聖書の学びなど

対象 高校生
場所 hi-b.a. キャンプ場
(千葉県長生郡一宮町新地1987-1)

参加費 無料 ※現地までの交通費は各自の負担

問い合わせ hi-b.a. センター ☎03-3409-5072
office@hibajapan.com



参加のお申込は
右のコードから



寄稿:「架け橋になる学びのために」

JELAディアコニア奨学生 大塚 信 さん(トリニティ神学校 修士課程)

JELAは、キリスト者としての成長・社会と人々への奉仕・国際社会への貢献を目指す人々のために「JELAディアコニア奨学金」を設けてその学びを支援しています。「ディアコニア (διακονία)」とは、ギリシア語で「奉仕」という意味の言葉で、教会においては困窮する人々や立場の弱い人々のためにキリストの愛を実践すること指します。

今回、ディアコニア奨学金を受けて米・トリニティ神学校で現在学ぶ大塚信さんにご寄稿いただきました。

1.はじめに

1993年神奈川県で生まれ、5歳からは千葉県で育ちました。牧師として働いていた父が、苦勞もありつつも喜びをもって働いている姿が印象的でした。牧師は世襲制ではありませんが、私自身も個人的に神様との関係の中で牧師になると決心に導かれていきました。大学を卒業し、会社員として働いた後、パンデミック中は日本でのオンライン受講を経て、2023年秋から米国での学びが始まりました。



大塚信さん(右)

学びをしているトリニティ神学校では、様々な国から学生が集まっていることが一つの大きな特徴で、当神学校で学ぶことを決めた大きな理由です。

第三に、様々な国から来ている学生たちに日本について知ってもらい、日本のために祈り支えたい、仕えたいと思ってくれる学生たちとの架け橋となることです。最近では日本人学生の有志で日本の展示会と、誰でも参加できる日本のための祈り会を行うなど、微力ながらできることを模索しています。

3.現在学んでいること

学びの現在は大きな括りで言うと神学修士過程に在籍しています。聖書の原語であるギリシャ語やヘブライ語の学びでは、翻訳しきれないニュアンスや強調点を知ることができます。また別のクラスでは、牧師として人の心に寄り添い、同伴者として歩んでいくことなど、牧会学を学んでいます。また、より実践的なものでは、結婚式や葬儀について、自分自身がいる文化的

文脈(私であれば日本)について調査する授業も現在取っています。

米国での新生活は、妻と2ヶ月の息子連れて引っ越してきたことから始まりました。妻も同神学校の学生で、現在は私はフルタイム、妻はパートタイムで、二人で学生をしています。お互い学んだことを共有し合うことができる喜びを感じています。また、キャンパスの寮には多くの家族もあり、お互いに子育てを助け合うことができるのが魅力の一つです。

4.今後の展望

残りの3年半の学びを終えた後、日本で牧師としての働きを始める予定です。家庭を持ち海外での学びをしていくことに不安もありましたが、ディアコニア奨学生として送り出してください、こうして学びを続けることができており心から感謝しております。先程書いたように、架け橋でありたいと願うことは、情報や海外の学生だけでなく、日本で弱い立場にある人、社会から疎外されてしまっている人、人生上手く行っているように見えるのに虚しさを抱えている人、そうした方々に届いていくことでもあります。ここでの学びが机上のものに終わらず、生きた学びとなっていくように、良いものを持ち帰ることができるように、また私自身が整えられていくように、お祈りいただけましたら感謝です。

支援者のための支援も必要

難民支援従事者へセルフケア(コレモ)研修を提供

難民支援の現場には、トラウマにより傷ついた人(難民や難民認定申請者)が多く来訪されます。そうした人々と接する難民支援従事者が、話を聞いたり、接する中でストレスを溜め込んでしまう事例もあります。難民支援従事者も、実は支えが必要なのです。

JELAは5月30日、6月13日の2日

間、難民支援に従事する方を対象としてコレモ研修を無料で提供しました。コレモとは「コミュニティ・レジリエンシー・モデル=Community Resiliency Model」の略称で、トラウマを抱えた方に心を守るヒントを与えるだけでなく、支援者のセルフケアにもなる方法です。

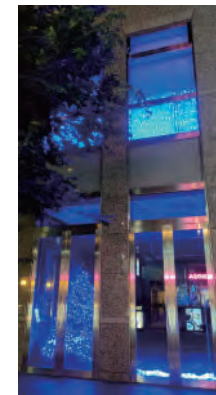
以前、JELAハウス(難民シェル

ター)で管理人をしていた方が、実際に難民と関わる中で「難民支援者への支援」の必要に気づき、日本国内でコレモ研修を主宰しているCenter for HEART(センター・フォー・ハート)とJELAの橋渡しをしてくださり、今回の研修を実施することとなりました。

2日間のコレモ研修には、各回約25名の難民支援に関わる組織や団体、個人の方などが参加してくださり、セルフケアの概念や心身へのアプローチ方法について学びました。

6/20「世界難民の日」に初のオンライン・セミナーとライトアップを実施

セミナーの視聴はこちらから▶



6月20日は国連が定める「世界難民の日(World Refugee Day)」です。同日、JELA初となるオンライン同時配信・無料セミナー「今、わたしたちにできることを考える」を行い、難民についての啓発や、JELAの難民シェルター(ジェラハウス)や奨学金などについて紹介しました。このセミナーは、JELA公式YouTubeチャンネルのアーカイブとしていつでも視聴いただけます。

UNHCRは「世界難民の日」に日本各地のラ

ンドマークを国連カラーのブルーにするPR活動を行なっています。JELAは、UNHCRの趣旨に賛同して、ブルーライトアップを6月12日から6月30日まで行いました。鮮やかなブルーのイルミネーションに通行人も足を止めていました(写真参照)。難民を助けを必要とする隣人として手を差し伸べる文化を、恵比寿の町にも紹介していくために、JELAは毎年この時期のライトアップを続けていきたいと思います。

時期が合いましたら是非お足運びください。

世界の子ども支援

カンボジアの3州に計570台今年もソーラーランタンを寄贈!



JELAは、パナソニック ホールディングス株式会社様のご支援により、カンボジアの無電化地域にソーラーランタンを届ける活動を行っています。今年度は、570台のソーラーランタンをJELAのカンボジア・パートナーLutheran Hope Cambodia Organization(5月に「Life With Dignity」から改称)を通じて、5月末から6月にかけてプレイベン州、スバイリエン州、コンボンスプー州の無電化地域の農村へ寄贈しました。

6月4日に行われたコンボンスプー州でのソーラーランタンの寄贈式には、パ

ナソニック・カンボジア支店の前田寿和支店長をはじめ、パナソニックの事業に関係する多くの方々が参加してくださいました。

パナソニック ホールディングス様は、2009年から世界の無電化地域への10万台のソーラーランタンを届ける活動を開始しました。JELAはパナソニック ホールディングス様から2013年以降カンボジアとインドにソーラーランタンを多数寄贈いただきました。

2021年から新たなCSR事業「LIGHT UP THE FUTURE」が開始されると、

JELAはあらためてパートナー団体として税関の厳しいカンボジアへソーラーランタン届ける役割を担うようになりました。

ソーラーランタンは、太陽光で充電ができ、夜間の光源として無電化地域の人々の生活を支えています。ソーラーランタンによって、夜間の活動時間(子どもの学習時間、家族の団らん、小売などのビジネス)が増え、人々の生活の向上が見られています。

JELAはソーラーランタンが無電化地域の人々の生活に与える影響について調査を行い、パナソニック ホールディングス様へ報告すると共に、学会などでも発表し、この働きの普及に努めています。



第18回 川柳ひろば 入選句発表!

次の三句が選ばれました（柏木哲夫選）。今回は偏奇庵さんが最優秀に選ばれました。優秀賞のおよしさん、風狂亭極楽さんをはじめての入選です。皆さん、おめでとうございます！



柏木 哲夫氏

<最優秀句>

ないものか寄る年波を返す波（偏奇庵）

<優秀句>

貯めたのは貯金でなくて膝に水（およし）

煮詰まったカレーで凌ぐ妻の留守（風狂亭極楽）

以下のような佳作もありました（川柳ひろば管理人選、柳名略）。時事ネタや生活に密着した話題、芸術性のある作品など多数の投句がありました。

☆ るを入れて「がんばってるね」いい言葉

☆ AIに優秀取られてなるものか

☆ 身の疲れ戦火のニュースで倍加した

「川柳ひろば」では作品を随時募集しています！

オンライン投句フォーム（右記の2次元コードからアクセスできます）または郵便でご投句ください。本名での応募を希望されない方は、柳名（ペンネーム）を必ずご明記ください。皆様の作品をお待ちしております。

（川柳ひろば管理人 奈良部 慎平）



次号JELA NEWS第65号は12月15日発行!!
アメリカ・ワークキャンプの参加者レポートをお楽しみに!

JELAの公益事業を継続的に支える
JELAサポーターを求めています!

年1,000円から!
クレジットカードの自動定額決済がご利用いただけます。



詳しくは JELAサポーター で検索



JELAはSDGs（持続可能な開発目標）の達成のために取り組んでいます。



〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-20-26
☎ 03-3447-1521 ☎ 03-3447-1523
🌐 www.jela.or.jp ✉ jela@jela.or.jp

支援者一覧

（2024年3月1日～6月30日）

（順不同・敬称略）

青木孝士/秋吉亮/浅野圭佑/阿部光成/安藤淑子/
飯島喜久江/江崎啓子/大谷忠雄/大嶺愛持・裸覇武・
十六夜/大森孝純/小川副代/柿沢純江/鐘ヶ江和馬/
京谷信代/倉知延章/小泉小枝/小坂敦子/小島拓人/
古庄理世/小林勝/小丸吉展/坂根信義/霜尾閑子/
杉本洋一・範子/田中淑子/塚田政司/辻裕子/
鳥飼勝隆・豊子/永島かな子/中村みゆき/野口久志/
福嶋千恵子/古川朋子/古屋四朗/保坂和子/星野幸子/
益田直人/松岡俊一郎/光永尚生/南節子/宮澤真理子/
棟方玲子/森保宏/八坂由貴子/山口初子/山田美美子/
山田美和子/良知智子
恵比寿聖書フォーラム/グレイス合唱団/聖書フォーラム委員会/
ハーベスト・タイム・ミニストリーズ/新潟のぞみルーテル教会カリーナ会/
JELC玉名教会/JELC天王寺教会

ご支援ありがとうございます。
匿名をご希望の場合は、ご送金の際にお知らせください。

編集後記

「神のなさることは、すべて時にかなって美しい」という言葉が聖書にあります。1909年、今から115年前にアメリカルーテル教会とその宣教師たちの祈りの中で、日本にイエス・キリストの福音を伝えるために設立されたことが、JELAの原風景です。「真理はこの道しかない」と言われると、相対的かつ寛容の文化にある日本人の耳には狭隘で排他的に聞こえるかも知れませんが、115年前の宣教師たちは愚かな者となることにもひるまず、しかし聞く者の心を開くための努力を惜まず、これを伝え続けて下さいました。そこから今に至るまで、日本の元号は4度変わり、その間に二度の世界大戦があり、時代は大きく変わりましたが、聖書の御言葉も伝えるべき福音も変わることはありません。今年、公益法人となったJELAは、日々原風景に立ち、冒頭の言葉をもって歴史を振り返り、将来に期待する団体であり続けたいと考えています。（渡辺薫）

寄付控除の対象となります!

JELAへの寄付金は、公益法人への寄付として、税制優遇の対象となります。

【優遇を受けられる税の種類】

- ・ 所得税（所得控除）
- ・ 個人住民税（自治体の制度によります）

また、法人による寄付についても、通常よりも大きい損金算入限度額が認められます。

寄付控除に関する詳細は、JELAのウェブサイトをご参照ください。

JELA 寄付控除



寄付金のご送金先:（旧法人名の払込取扱票もご使用可能です）
ゆうちょ銀行 口座番号: 00140-0-669206（加入者名: 公益財団法人JELA）
三井住友銀行 飯田橋支店 普通2896506（口座名義: 公益財団法人JELA）